

優樹福祉社会職員 各位

社会福祉法人 優樹福祉会  
理事長 杉山 和巳  
(公 印 省 略)

### 新型コロナウイルス感染対策について

福島県は11月5日(金)第100回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議を開催しました。  
これを受け福島県知事より以下のメッセージが出されました。

**(抜粋)**全国的に感染状況が落ち着いているとはいえ、新型コロナウイルスとの闘いが終わったわけではありません。このような状況だからこそ、「感染の再拡大＝リバウンドをさせない」という強い決意の下、県民一丸となって感染対策に臨まなければなりません。お一人お一人が、常に感染リスクを下げる行動を心がけることによって、次の感染の波を抑える・遅らせることができるということを共有し、改めて、基本対策の徹底をお願いします。特に、複数の方が同じ場所、同じ時間を共にする職場は、これまでクラスターなども発生しており、人々との距離の確保、手指消毒、換気、マスクの正しい着用などの基本対策に加え、職場ならではの感染対策を徹底するようお願いします。ドアノブなど複数の方が触る場所をこまめに消毒することなども有効です。改めて、職場の感染防止対策の見直しをお願いします。今後、第5波を超える感染拡大が生じる可能性が懸念されますので、11月の感染者数をできるだけ低く抑えることが重要であると考えております。県民の皆様、事業者の皆様におかれましては、この落ち着いた感染状況が長く続くように、気を緩めることなく、引き続き、感染防止対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

これから、受験や、年末年始で帰省するなど移動が活発になる時期ですが、次の感染の波を抑え様々な活動ができるよう職場内での感染症対策を徹底すると同時に、職員・利用者一人ひとりの日常における基本的な感染防止対策を今まで通り徹底して行ってください。

1. マスクの着用、手洗い、うがいの徹底
2. 事業所や自宅で検温を行い、しっかりと体調管理
3. 行動記録をつける
4. 発熱・体調不良・受診等があった場合は管理者に連絡・相談
5. 同居家族に発熱や症状が出た場合も管理者に連絡・相談
6. 同居家族に濃厚接触やそこに関係する状況があった場合、管理者に連絡
7. 事業所で共通して使用する機器類の消毒・換気の徹底
8. 感染リスクの高い行動は控える  
移動先の感染状況、さまざまな情報に注意し感染拡大地域との不要不急の往来は控える
9. 当面の間、職場での歓送迎会や忘年会及び不要不急の集会は行わない

新型コロナウイルス感染症対策本部  
担当： 新井 遠藤 松本  
0248-21-5290